

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：料金施策	
日付：11月21日（土）曜日、セッション時間：15：00～16：30	
司会者名（所属）：室町泰徳（東京工業大学）	
討 議 内 容	セッション全体： タイトルは料金施策であったが、内容は行動分析、時系列分析、プロトコル分析と多様であり、特にまとめるほどのことはない。しかし、討議は比較的活発に行われた。
	（40）中井陽平（名古屋大学）： PDS のメリット、論文内モデルのパラメータ安定性、便益の帰着と公平性・効率性に関する議論があった。
	（41）井上真一（広島大学）： 独立成分分析の特徴に関して、特に料金政策変更の検出方法、統計的な検定方法、将来予測の可能性に関する議論があった。
	（42）安東章（（株）日建設計総合研究所）： ファシリテーターの役割、発話のコーディングに関する議論があった。